

学 習 内 容

目的・方針

「地域包括ケアシステム」の構築が推進される中、医療と生活の両方を支えることのできる訪問看護はその中でも重要な役割をはたしている。地域で生活している療養者を支えるために、訪問看護の従事者を増やすことと訪問看護の質を確保・向上することが、喫緊の課題である。

そこで、当研修会では、各都道府県から推薦された受講者が、地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割を果たすために、「訪問看護師の量的・質的確保の課題を整理し解決策の糸口を提言できる」、「地域の実情に沿った訪問看護の基盤整備・推進活動について方策を考えることができる」、また、それを「地域において企画・運営できる」ような人材（以下、訪問看護ハイレベル人材）を養成し、受講後、都道府県の訪問看護担当者とともに、当研修会などを伝達研修し、地域における同様の人材育成にも関わることができるようにする。

この研修会を通して、最終的に各項目の講義の学びを活かして、今後の取り組みの必要性や内容の検討につなげる。

【訪問看護ハイレベル人材養成研修会】

総論 1 地域包括ケアシステムと訪問看護

- ・ 地域包括ケアシステムと在宅医療
- ・ 地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割
- ・ 地域包括ケアシステムにおける多職種連携

総論 2 最近の動向（医療的ケア児に対する地域の動向と支援体制）

総論 3 地域における訪問看護の課題の明確化（GW）

各論 1 訪問看護における連携

- ・ 医療機関との連携
- ・ 多職種連携 ※地域包括ケア内で説明
- ・ 行政との連携

各論 2 訪問看護の人材育成と質の確保

各論 3 地域における訪問看護の課題と今後の方策の共有（GW・プレゼンテーション）

- ・ 訪問看護の基盤整備・推進のための具体的な方策の共有
- ・ 地域における訪問看護ハイレベル人材育成のための具体的な方策の共有

事前学習 「自地域における訪問看護の課題を考察する」